

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第59期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 ヤマト・インダストリー株式会社

【英訳名】 YAMATO INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岩本 宣 頼

【本店の所在の場所】 埼玉県川越市大字古谷上4 2 7 4 番地

【電話番号】 049(235)1234(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部統括 茂木 久 男

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区上野三丁目9番1号

【電話番号】 03(3834)3111 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 藤元 勝 利

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第58期	第59期	第58期
		第2四半期 連結累計期間	第2四半期 連結累計期間	第58期
		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	6,483,328	6,597,881	14,585,800
経常利益又は経常損失()	(千円)	7,536	3,084	220,689
当期純利益又は 四半期純損失()	(千円)	25,002	3,065	149,779
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	16,056	111,703	233,628
純資産額	(千円)	1,471,067	1,830,459	1,720,752
総資産額	(千円)	5,935,630	5,765,913	6,340,501
1株当たり当期純利益金額又は 四半期純損失金額()	(円)	2.49	0.30	14.90
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	24.8	31.7	27.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	162,743	80,936	224,580
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	17,586	185,439	16,383
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	192,452	395,013	105,912
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	896,367	955,398	1,035,368

回次	会計期間	第58期	第59期
		第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間
		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	0.22	2.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策・金融緩和政策への期待感から円安・株高が進行し、輸出企業を中心に業績の改善や個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、新興国の経済成長の鈍化や原材料価格の高騰、来春に控えた消費税増税など国内景気を下振れするリスクを抱えており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、収益性の向上を目指し高付加価値製品の受注拡大に努めるとともに原価低減および経費削減に取り組んで参りました。

その結果、売上高は65億97百万円（前年同四半期64億83百万円）、営業利益は20百万円（前年同四半期26百万円の利益）、経常損失は3百万円（前年同四半期7百万円の損失）、四半期純損失は3百万円（前年同四半期25百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(合成樹脂成形関連事業)

国内におきましては、当社の主力である、OA機器部品や住設機器の新規案件受注が低迷で厳しい状況が続きましたが、海外において、主力のOA機器部品の受注が順調に推移したことにより、増収、増益となり、この結果、売上高は60億20百万円（前年同四半期57億32百万円）、営業利益は66百万円（前年同四半期27百万円の利益）となりました。

(物流機器関連事業)

競合他社との価格競争が続く中、売上拡大に努め収益の確保に注力してまいりましたが、円安による原価高により前年同四半期に比べ減収、減益となりました。この結果、売上高は5億76百万円（前年同四半期7億50百万円）、営業損失は46百万円（前年同四半期1百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

資産合計は57億65百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億74百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が82百万円減少、受取手形及び売掛金が3億57百万円減少、商品及び製品、仕掛品等のたな卸資産が46百万円増加、土地が2億33百万円減少、投資有価証券が2百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は39億35百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億84百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億94百万円減少、短期借入金が2億70百万円減少、流動負債のその他が1億11百万円減少、長期借入金が95百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は18億30百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億9百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の減少4百万円、為替換算調整勘定の増加1億15百万円によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、80百万円（前年同四半期に営業活動の結果得られた資金は、1億62百万円）となりました。これは主に、売上債権・仕入債務・棚卸資産の増減、その他で22百万円の資金増加等の影響によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、1億85百万円（前年同四半期に投資活動の結果得られた資金は、17百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、3億95百万円（前年同四半期に財務活動の結果支出した資金は、1億92百万円）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出によるものです。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から79百万円減少し、9億55百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,960,000
計	22,960,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,171,797	10,171,797	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株で あります。
計	10,171,797	10,171,797		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		10,171,797		927,623		785,172

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
永田紙業株式会社	埼玉県深谷市長在家198	2,500	24.57
明成物流株式会社	埼玉県深谷市長在家198	1,500	14.74
日本証券金融株式会社	東京都中央区茅場町1-2-10	373	3.66
岩本宣頼	埼玉県川越市	250	2.46
美吉野化工株式会社	大阪府大阪市中央区松屋町住吉5-14	215	2.11
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1-6-1	188	1.84
森川正幸	大阪府大阪市中央区	165	1.62
第一生命保険株式会社 (常任代理人資産管理サービス信託銀行株式会社)	東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟	160	1.57
ヤマト・インダストリー社員持株会	埼玉県川越市大字古谷上4274	135	1.33
株式会社YPK	東京都千代田区神田1-5-4 ミヤコビル	133	1.30
計		5,620	55.25

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 121,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,035,000	10,035	
単元未満株式	普通株式 15,797		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	10,171,797		
総株主の議決権		10,035	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式 51株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ヤマト・インダストリー 株式会社	埼玉県川越市大字古谷上 4 2 7 4 番地	121,000		121,000	1.19
計		121,000		121,000	1.19

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 . 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 . 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人不二会計事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,041,718	959,648
受取手形及び売掛金	² 2,363,502	2,006,299
商品及び製品	500,653	472,126
仕掛品	123,819	169,291
原材料及び貯蔵品	259,777	288,880
その他	204,495	223,397
貸倒引当金	674	628
流動資産合計	4,493,293	4,119,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	302,265	299,785
機械装置及び運搬具(純額)	339,723	364,191
土地	894,119	660,642
リース資産(純額)	34,792	31,279
建設仮勘定	2,420	11,015
その他(純額)	58,606	66,441
有形固定資産合計	1,631,928	1,433,354
無形固定資産		
その他	25,917	22,581
無形固定資産合計	25,917	22,581
投資その他の資産		
投資有価証券	67,093	64,943
その他	127,825	131,382
貸倒引当金	5,557	5,364
投資その他の資産合計	189,361	190,961
固定資産合計	1,847,207	1,646,897
資産合計	6,340,501	5,765,913
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 2,112,368	1,917,379
短期借入金	721,582	450,940
未払法人税等	22,161	10,454
賞与引当金	24,401	25,612
その他	430,078	318,376
流動負債合計	3,310,592	2,722,762
固定負債		
長期借入金	1,103,535	1,008,193
退職給付引当金	146,789	151,744

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
その他	58,830	52,752
固定負債合計	1,309,155	1,212,690
負債合計	4,619,748	3,935,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	927,623	927,623
資本剰余金	785,172	785,172
利益剰余金	45,338	40,368
自己株式	22,562	22,653
株主資本合計	1,735,572	1,730,511
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	2,218	2,427
繰延ヘッジ損益	-	935
為替換算調整勘定	17,039	98,455
その他の包括利益累計額合計	14,820	99,948
純資産合計	1,720,752	1,830,459
負債純資産合計	6,340,501	5,765,913

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,483,328	6,597,881
売上原価	5,729,883	5,820,302
売上総利益	753,444	777,578
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	183,633	198,939
給料及び賞与	225,506	228,434
退職給付費用	17,719	24,691
貸倒引当金繰入額又は戻入額()	2,004	45
その他	298,526	305,117
販売費及び一般管理費合計	727,391	757,137
営業利益	26,053	20,441
営業外収益		
受取利息	226	286
受取配当金	168	213
受取賃貸料	1,172	982
保険解約返戻金	5,193	-
その他	6,151	4,378
営業外収益合計	12,911	5,860
営業外費用		
支払利息	31,973	21,346
為替差損	6,072	2,764
その他	8,455	5,275
営業外費用合計	46,501	29,386
経常損失()	7,536	3,084
特別利益		
固定資産売却益	-	29,749
ゴルフ会員権売却益	85	-
特別利益合計	85	29,749
特別損失		
固定資産処分損	501	26
投資有価証券売却損	12,349	-
事業構造改善費用	1,022	1,064
その他	4,524	-
特別損失合計	18,396	1,090
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	25,848	25,574
法人税等	845	28,639
少数株主損益調整前四半期純損失()	25,002	3,065
四半期純損失()	25,002	3,065

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	25,002	3,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,145	208
繰延ヘッジ損益	103	935
為替換算調整勘定	6,903	115,495
その他の包括利益合計	8,945	114,768
四半期包括利益	16,056	111,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,056	111,703

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	25,848	25,574
減価償却費	58,308	69,585
退職給付引当金の増減額(は減少)	6,207	4,954
貸倒引当金の増減額(は減少)	224	238
賞与引当金の増減額(は減少)	43,622	1,210
受取利息及び受取配当金	394	500
支払利息	31,973	21,346
為替差損益(は益)	3,353	6,208
固定資産処分損益(は益)	501	26
固定資産売却損益(は益)	-	29,749
投資有価証券売却損益(は益)	12,349	-
投資有価証券評価損益(は益)	4,524	-
保険解約損益(は益)	5,193	-
事業構造改善費用	1,022	1,064
売上債権の増減額(は増加)	410,636	409,185
たな卸資産の増減額(は増加)	36,880	10,877
仕入債務の増減額(は減少)	379,551	318,571
未払消費税等の増減額(は減少)	16,726	8,901
その他	44,310	78,747
小計	226,200	131,127
利息及び配当金の受取額	394	500
利息の支払額	32,249	23,522
法人税等の支払額	30,579	31,213
法人税等の還付額	-	5,108
事業構造改善費用の支払額	1,022	1,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,743	80,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,100	2,100
定期預金の払戻による収入	7,400	4,200
投資有価証券の取得による支出	500	535
投資有価証券の売却による収入	41,959	-
有形固定資産の取得による支出	65,760	79,016
有形固定資産の売却による収入	-	263,281
投資その他の資産の増減額(は増加)	-	3,020
貸付けによる支出	-	3,000
貸付金の回収による収入	60	596
保険積立金の解約による収入	16,375	-
その他	20,153	1,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,586	185,439

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	37,266	19,716
長期借入金の返済による支出	149,878	417,890
長期借入れによる収入	-	50,000
自己株式の取得による支出	-	91
リース債務の返済による支出	5,307	7,316
財務活動によるキャッシュ・フロー	192,452	395,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,889	37,404
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	8,233	91,233
現金及び現金同等物の期首残高	904,601	1,035,368
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	11,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	896,367	955,398

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
1 受取手形割引高は401,616千円であります。 受取手形裏書譲渡高は12,459千円であります。 2 連結会計年度末日満期手形の会計処理については満期日に決済が行われたものとして処理しております。 なお、当連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高から除かれております。 受取手形 4,190千円 支払手形 308,746千円	1 受取手形割引高は296,207千円であります。 裏書手形残高は6,643千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	900,617千円	959,648千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	4,250千円	4,250千円
現金及び現金同等物	896,367千円	955,398千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,732,352	750,975	6,483,328		6,483,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,433	281	26,714	26,714	
計	5,758,785	751,256	6,510,042	26,714	6,483,328
セグメント利益又は セグメント損失()	27,548	1,494	26,053		26,053

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,020,899	576,982	6,597,881		6,597,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,692	170	32,862	32,862	
計	6,053,591	577,152	6,630,744	32,862	6,597,881
セグメント利益又は セグメント損失()	66,649	46,208	20,441		20,441

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	2円49銭	0円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	25,002	3,065
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	25,002	3,065
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,051	10,051

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

ヤマト・インダストリー株式会社
取締役会 御中

監査法人不二会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 栗田 尚 宜 印

業務執行社員 公認会計士 川本 弘 文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているヤマト・インダストリー株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ヤマト・インダストリー株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。